

総務市民文教委員会行政視察報告書

先進地視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

令和元年 8 月 3 0 日

光市議会議長 西村 憲治 様

総務市民文教委員会

委員長	笹井 琢
副委員長	岸本 隆雄
委 員	木村 信秀
委 員	田邊 学
委 員	中本 和行
委 員	仲山 哲男
委 員	西村 憲治（議長）
委 員	林 節子
委 員	森重 明美
随 行	松尾 真

記

- 1 視察年月日 令和元年 8 月 6 日（火）～ 8 日（木）
- 2 視 察 場 所 岐阜県羽島市 情報・防災庁舎と新本庁舎の建設について
静岡県沼津市 アニメと連携したシティプロモーションについて
静岡県掛川市 シティプロモーション推進計画について
静岡県藤枝市 避難勧告等の判断・伝達マニュアル等について
- 3 視察調査結果 別紙のとおり

新しい本庁舎の建設

現本庁舎

昭和34年建築

鉄筋コンクリート造 5階建4700㎡

羽島市出身の坂倉準三が設計

第12回建築学会賞受賞

エレベーター・エスカレーターなし

庁舎は内外6箇所に分散 合計7800㎡

耐震性(IS値) 平成7年0.31 平成28年0.245 (※拠点施設である市庁舎は0.9以上必要)

新本庁舎建設後の利活用は未定



新本庁舎

阪神淡路地震以来、庁舎より小中学校や病院の新病棟等公共インフラの耐震整備を優先して実施

H28 市長が熊本地震被災地（宇土市）視察

国が起債の面で制度拡充

(耐震補強していない庁舎を建て替える場合、起債対象経費の9割分算入可。H32まで)

H29 有識者による庁舎検討委員会設置

7月に委員会答申「現庁舎の使用は難しい
現敷地での新庁舎建設が最良」

タウンミーティング11ヶ所で実施

市民アンケート1000人以上から回収

10月に新庁舎建設委員会を立ち上げ

公共的団体・自治会等に70回程度出向き

丁寧の説明

パブコメ以外に市民意見交換会も開催

H30.6 基本計画

ワークショップを5回実施

報告書「羽島みくじで考える」作成

H30.11 基本設計

R元.7 実施設計

R元.10 契約締結 工事着工

R3.3 竣工予定 令和3年7月に開庁予定

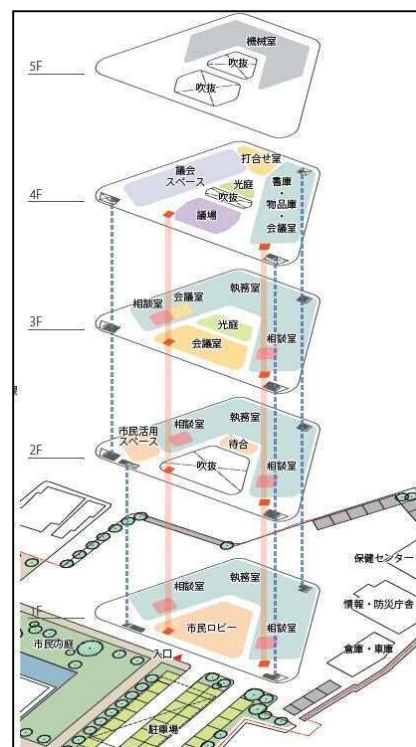
構造 鉄骨造5階建 免震工法 9800㎡

費用 プロポーザル関係 1.9億

総工費 50億円

財源 市町村役場機能緊急保全事業債45億円

庁舎建設基金7億円 (H27以降に積立)



防災ステーション

平成23年供用 鉄骨造 2階建 1384㎡
木曽川堤防に隣接して立地している
国交省河川防災ステーションの位置付け
水防倉庫と備品資材等備蓄倉庫あり
(飲用水、食料、毛布などを備蓄)
普段は武道場として活用している



その他防災の取組み

①羽島市防災コーディネータ登録制度

平成25年から養成講座で養成
6年間で298名を養成登録しHPで公開
市民の認識が薄いので地元の人からやるのが有効
行政主導では実際の災害対応にならない
地元人同士が協力する土壌を作る

②羽島市防災研究会

平成27年にコーディネータの有志で自主的に設立 現在197名
活動費としては公費を入れてない 会費1000円をとって自主運営
市はお手伝いをしている (郵送や資料コピーとか)
本年度6月女性部会設立 現在44名 女性の視点で活動予定

③土嚢ステーション

内水対策として市内4ヶ所の公園に整備
土嚢100個常備 (約80万円) 職員が補充する

④羽島市災害時要配慮者 (高齢者・障害者) 配慮マニュアル

福祉部で策定 高齢者、障害によって、配慮のポイントを周知

⑤羽島市被災動物救援マニュアル

生活環境課で策定 避難所におけるペット同行者のルール、受付、扱い
総合防災訓練時にペット同行訓練を実施

【主な質疑と回答】

Q：本庁舎の耐震化にあたり、現地建て替え以外の手法は検討されたか？

→庁舎検討委員会において移転新築・耐震補強・居抜き物件活用・現在地建替の4つのパターンを検討し、現在地建て替えが最良との答申を得た。耐震補強でも30億円かかる。

Q：ワークショップ「羽島みくじで考える」の構成メンバーと運営は？

→教育委員会を通じ市内中学校5校×4人程度と高校1校に依頼、公募を併せ総勢45人。参加に無理のない夏休み土日に実施。大人と一緒にでは子供が萎縮するので、中高生2回、大人2回、5回目一堂に会して取り纏めた。

Q：新庁舎の浸水可能性の考え方は？

→1000年に一度の大雨で浸水した場合でも2階渡り廊下で防災情報庁舎へ移動できる。本庁舎の主要機器類は5階に設置する。

【各委員所感】 岐阜県羽島市『情報・防災庁舎と新庁舎の建設について』

笹井 琢

平成27年の防災情報庁舎建設時には本庁舎の建替え計画はなかったが、平成28年の熊本地震をきっかけとして本庁舎の建替えを推進。令和元年10月に着工し、令和3年3月に完工させるスピード展開だが、市民によるワークショップは頻繁に開催されている。建物の二重投資ではという指摘については、市民説明を繰り返し重ね、概ね理解が得られている模様。昭和34年に建設された現庁舎について、今後の計画は未定とのことであり、場当たり感がある。

光市においては、本庁舎建替えの全体計画の明示を求めている。

岸本 隆雄

防災庁舎については、平成27年完成の2階建ての建物で、現在、建築が始まった本庁舎と最終的に2階部分で連結するそうです。普段は格別に機能することはあまりない建物だと思いますので、本庁舎が建て替えられれば、必要のないように感じられました。

現本庁舎については、昭和34年に建築された建物で、見た目に古く、早く建て替えたほうがいいと思いました。本庁舎の建て替えは、市長が新しく代わり、平成28年の熊本地震により決心がついたそうです。基本計画や実施計画を策定し、また、いろいろな所に分散していた教育委員会、福祉課、上下水道局などを新庁舎に集約した事が、とてもよいと感じました。

防災の取組みについては、「防災コーディネーター」を289人も養成されたことを伺い、本市もそのような取組みが必要と感じました。また、災害時要配慮者（高齢者・障がい者）配慮マニュアルや被災動物救援マニュアル、避難所における被災動物救援マニュアルについても作成されており、本市においてもこのようなマニュアルを作成しなければいけないと思いました。

木村 信秀

情報・防災庁舎は、本庁舎の傍に、巨大地震などに備えて市民生活の安心安全の確保のため平成27年3月に竣工されていた。庁舎内には、所管課のほか50人以上が同時に活動できる災害対策本部室をはじめ、情報通信機能の中核となる機能を集めたサーバールームや防災通信室、また、研修室や仮眠室を兼ね備えたミーティングルーム等が配置され、さらに、停電時や断水時の対応の為に非常用発電機や井戸も完備されていた。財源措置としては、公用施設整備基金（地域の元金臨時交付金を原資）9,503万円と市債1億30万円及び一般財源4,447万円を充てていた。今後、当市の建設にあたっての参考としたい。

田邊 学

羽島市は、東海道新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジがあ

り、便利で住み良い環境にあるが、木曽川・長良川・境川に囲まれていることから、自然災害対策には、充分に行政が力を入れているように感じられた。

羽島市の防災におけるメニューは、防災情報、自主防災組織の活動、予防・啓発活動・防災対策、国民保護等がホームページ上で整備されており、大変参考となった。情報・防災庁舎や新本庁舎の建設については、市民との十分な話し合いの上で、光市も進めていくことが重要ではないだろうか。

中本 和行

新幹線と高速道を有し、高速交通の拠点都市であり、名古屋まで10分という立地に恵まれた市。また、木曽川・長良川・境川に囲まれた自然豊かな街ではあるが、街全体が平坦地であるため、これまで、水の恵みを受けながらも、水との戦いを続けてきた。

防災庁舎は、災害に強い街づくりをと、市民生活に甚大なる災害に備え、応急活動や行政事務の拠点として整備された。事務室のほか、災害対策本部室や情報通信機能を集めた通信室、研修室等を配置し、停電時の対応として非常用発電機や井戸も完備した、鉄筋2階建の庁舎となっている。

羽島防災センターは、市と国が連携して緊急時に対応するため、国土交通省河川防災ステーションとして位置づけられ、地域の防災活動の会場として利用されている。

新庁舎の建設については、市民が利用しやすい街づくりの拠点、更に、防災機能を有した市民を守る安心安全な施設として、市役所本庁舎は最も重要な庁舎と考える。我が街においても、各地で起こる災害を教訓として、防災機能を有した新庁舎への建て替えが急がれる。

仲山 哲男

情報・防災庁舎の規模、機能、備えについて、光市の場合を考える要点を確認でき、有意義な視察だった。学校等の耐震化を優先した光市と同様の事情の中においても、新本庁舎の建設を進めているが、財源の関係上、期間短縮を図りながら計画から竣工まで実施するなかで、市民の理解と参画意識を大切にする工夫を重ねている点に、好感を持った。防災コーディネーターの自主的な活動による研究会、女性の視点の取り上げ方、災害弱者やペットの対応の周知、市民と行政のSNSを使った双方向の情報のやり取りなど、防災の取組みに参考になることが多くあった。

西村 憲治

情報・防災庁舎の建設費2.4億円は、少し高いように思いました。また、このような庁舎を検討する場合においては、二重投資となる可能性があることから、慎重になる必要があると感じました。

市域が木曽川と長良川に挟まれた中州で、1000年降雨時には、5～10mの浸水の可能性があるとのことで、本市とは条件がかなり違い、そのような状況下では、逃げ場が全くないように感じました。

森重 明美

平成 27 年開庁の情報・防災庁舎は、今後、市民生活に甚大な影響が及ぶ恐れのある災害等の発生に備え、応急活動や行政事務の業務継続の拠点として整備。所管課の事務室をはじめ、50 人以上が活動できる災害対策本部室や情報通信機能室、防災通信室、市民防災研修室等を配置。防災への市民意識向上や人材確保への備えを象徴する建物として、その存在は別棟という利点が活きる。光市の現状においても参考としたい取組みである。総工費は 2 億 4 千万円。

情報・防災庁舎の建設時には本庁舎の建替え計画はなかったが、熊本地震を教訓に、市長の指示のもと、現在、緊急保全事業債を活用して建替え中。

林 節子

羽島市は、平成 27 年 3 月、災害に備えるため、本庁舎に隣接する別棟として「情報・防災庁舎」を建設。災害発生時には災害対策本部が設置され、情報通信機能の中核として機能し、50 人以上が同時に活動可能。また、本庁舎より先に、情報防災庁舎を整備した経緯は、熊本大震災が発生し改めて防災の重要性を再認識したからである。本庁舎は 2021 年 3 月に完成（予定）。完成時には情報・防災庁舎と 2 階部分が廊下で繋がる計画である。

他に、災害時の要配慮者（高齢者や障害者）へのマニュアル化や「羽島市被災動物救済マニュアル」及び「避難所における被災動物マニュアル」を作成しており、東日本大震災における被災動物の教訓が生かされていたことが心に残った。

日 時	令和元年 8 月 7 日（水） 9：00～11：30
市町村名	静岡県沼津市（人口18万9000人 面積186km ² 議員定数28名）
テ ー マ	アニメと連携したシティプロモーションについて
視察場所	静岡県沼津市御幸町16-1 沼津市役所 静岡県沼津市内浦長浜83-124 三の浦総合案内所
応 対 者	沼津市 観光戦略課 工藤英雄課長 益田紀仁副主任 三の浦総合案内所 大村文子 沼津市議会事務局 杉山康局長 塚本崇文書記

【概 要】

アニメ連携の経緯

- 平成22年 電撃G's magazineで
ラブライブ連載開始
- 平成25年 神田や秋葉原を舞台にした
ラブライブがTV放映
- 平成26年 制作会社から沼津市を舞台
とするアニメ作成の申入れ
沼津市はシビックプライド事業やフィルムコミッション事業の一
環として支援することを決定
- 平成27年 2月 ラブライブサンシャインの企画発表
- 平成28年 7月～10月 ラブライブサンシャイン1期放映
- 平成29年 10月～12月 ラブライブサンシャイン2期放映
- 平成31年 1月～ 劇場版ラブライブサンシャイン上映



連携事業の概要

沼津市役所 沼津市施設共通入場券の表紙に活用
ふるさと納税ノベルティとしてバッチ等作成
オリジナルマンホール蓋設置（傷つけ案件あったが再度設置した）
声優ユニットAqoursが沼津大使に就任、沼津夏祭りへ出演
主人公声優がナレーションを務める観光PR動画を作成
沼津ロケ地めぐりマップを作製

静岡県庁 静岡ディズニーキャンペーンに活用



商工会議所 町歩きスタンプ（現在80か所の施設や商店が協力）

民間業者 水族館など民間観光施設の入場券に活用

沼津駅前にコラボカフェ開設

コラボ商品（のっぽパン・J A蜜柑ジュースや菓子・缶バッジ等）

アニメ絵でラッピングしたバス・タクシー・船・鉄道車両



【主な質疑と回答】

Q：アニメ受け入れ時の市役所や現地の反応は？

→受け入れ判断に当たってはご当地アニメ先進地である茨城県大洗町の事例が参考になった。ラブライブサンシャインの最初の企画発表「助けてラブライブ」のイラストが公表された数時間後に現地が特定され、翌日にはファンの車が内浦に現れたので、これは大変なヒット作になると予感した。

Q：現実にある市立中学校を舞台にすることについて、判断や影響は？

→当時の校長先生が理解のある方で地元やPTAの理解が得られた。
アニメが放映された後になるが、学校外からプールが見えなくなるような工事をした。中学校周辺道路は部外者の立ち入りを遠慮してもらっており特にトラブルはない。

Q：聖地巡礼やコスプレについて、迷惑行為は発生していないか？

→注意事項についてはラブライブのHPに掲載してもらっている。海岸でのコスプレについては「許可も禁止もしていない」というスタンス。

Q：キャラクターの活用についての規定は、どのようになっているか？

→市役所の公的活用については無償で利用できる。民間の活用についてはアニメ会社との契約が必要。

（以下活用事例）



Q：三の浦総合案内所とはどのような施設か？

→元々は内浦地区の観光案内所的な施設。ラブライブサンシャインのグッズを展示しており、アニメ放映後は利用者数が約10倍に増えた。



Q：アニメ連携に関する市の予算はいくら計上されているか？

→市が作成する印刷物やふるさと納税ノベリティグッズの製作費だけ。
マンホール蓋の製作費はクラウドファンディングでまかなった。

Q：アニメの企画内容に沼津市から意見を入れることがあるか？

→ない。ロケハンティングにあたって市内各地を紹介する程度。

Q：ラブライブの経済効果はどのようなものがあるか？

→経済効果額というものは算出していない。キャラクターの誕生日には市内のホテルが満室になることがあり、十分な効果があると認められる。

Q：ふるさと納税においてラブライブ効果はあるか？

→納税額全体は増えているが、増えた要因までは分析できない。

Q：TVシリーズや映画も終了したが、今後どう取り組むのか？

→できるだけ長い間、ファンの方に沼津を楽しんでもらえるように取り組む。



【各委員所感】 静岡県沼津市『アニメと連携したシティプロモーションについて』

笹井 琢

ご当地アニメの作成にあたり、最も困難な障壁は実在学校の映像利用であると考え
るが、沼津市のケースでは、担当職員や校長の理解により協力体制が確立できた。内
浦地区が昔からの観光地であったことも成功要因の一つである。ご当地のアニメの舞
台化については、西日本において断わった事例もあると聞くが、シティプロモーション
の一環として、積極的に取り組むべきと考える。

光市議会において、これまで「シュタインズ・ゲート」や「ガールズ&パンツァー」
などのご当地アニメを紹介してきたが、光市を舞台としたアニメの作成を目指し、
今後もイキリオタク議員として活動したい。

岸本 隆雄

シティプロモーションとは、「自治体の営業活動」だと解釈します。営業活動で大切
なことは、「誰に、何を、どのようにして」販売するか（伝えられるか）です。

この3点のうち、【何を】が、なかなか難しく、商売であれば、売れる魅力ある商品
となりますが、自治体で言えば、街の魅力や宝（行ってみたい《観光》や住んでみた
い《移住》）となり、それを誰にどのようにして伝えるかです。

沼津市の場合、たまたまアニメの舞台に選ばれ、アニメファンが押し寄せたラッキ
ーな事例ではありますが、アニメと連携したシティプロモーションを考えた場合、【誰
に】が、アニメが好きな人になり、【何を】とマッチングすれば、後は、自然と良い結
果が期待できるでしょう。また、【どのようにして】を、アニメに絡めて工夫して情報
発信すれば、更に成果は出てくるのではないのでしょうか。

木村 信秀

アニメと連携したシティプロモーションについては、観光行政と経済行政が一丸とな
って、市をロケーションと見立てたアニメをもとに聖地化し、コアなファンに対してア
プローチをしていた。想像以上にファンが多く、地域住民の理解も十分に得られていた
ように感じた。今後の参考としたい。

田邊 学

静岡県東部地区に位置する沼津市は、伊豆半島の付け根にあり自然と歴史、文化の街。
そんな街での、「沼津市×ラブライブ！サンシャイン!!」観光プロモーション。駿河湾
の片隅にある小さな高校で、2年生の高海千歌を中心とした9人の少女たちが、大きな
夢を抱いて立ち上がる。ここから彼女たちの「みんなで叶える物語スクールアイドルプ
ロジェクト」が始まった（沼津観光ポータルより）。

沼津市を訪れ聖地巡礼をする人が、ここ数年で急増している。ラブライブ！サンシャ
イン!!のラッピングバスやタクシー、商店街の飾り付けなどを見れば、その経済効果も
大きいのではないかと感じる。今回の視察内容は、全国の他の自治体では、なかなか真

似のできないシティプロモーションであると思われるが、発想次第でチャンスはあるのではないだろうか。

中本 和行

平成 26 年に制作会社から「沼津市を舞台としたアニメを制作したい」との相談があり、その後、沼津市では当該アニメ制作に係る支援を続けてきた。中学校や三の浦地区との打ち合わせを行い、専門誌やウェブサイトで「ラブライブ!サンシャイン!!」企画が発表されると、沼津市では地元の了解を得てのアニメの街づくりが始まる。

消費の主役が変わり、自分の価値観に合えばお金を惜しまず使うという志向が、新しい街おこしにつながっている。多くのアニメファンが街を訪れ、大変賑わっていた。ふるさと納税返礼品やマンホールデザイン、交通機関のラッピング等にアニメを活用しており、その経済効果については、ある雑誌によれば億単位とも言われている。日本全国でアニメや漫画の舞台として、新しい街づくり、地域振興が行われていることに大変感銘を受けるとともに、とても良い勉強になった。

仲山 哲男

実際のまちを舞台として描かれている人気アニメーションがもたらす効果に驚いた。首都圏からの距離もポイントであると思われるため、同じドジョウを期待するのは難しいとは思いますが、作者・企画者にアピールできるまちの魅力を発信していく必要があると感じた。フィルムコミッションの延長にアニメの舞台設定も含めて考え、チャンスの間口を広げておくように考えていくこと、併せて、関係者の縁をつなげるネットワークの活性化も考えていきたい。

西村 憲治

アニメ制作会社からの申し入れで、アニメの舞台として沼津市が見初められ、多くのお客様がゆかりの地を巡礼していました。このことから、その効果は大いにありと認められます。駿河湾越しの富士山はとても素晴らしかったです。

また、現地視察の途中、ラブライブのアニメと新しい観光戦略を卒論のテーマとする女子大学生に遭遇し、生の声を聴くことができました。

森重 明美

沼津市を実際に訪れ、その抜群のロケーションに驚くが、この場所を如何に知るかは、「きっかけ」が重要。沼津市は幸運にも平成 26 年にアニメ制作会社から沼津・内浦を作品の舞台にとのオファーを受け、若者世代の聖地巡礼の地としてのシティプロモーションを展開。アニメという新感覚性が高く支持される一方で、理解を示せない層もあるのではと思いきや、民間事業者、商工会ともアニメ制作会社とのコラボレーションは健全。三の浦総合案内所は、5 年間で 12 倍の利用者数を示す。市観光戦略課曰く、「どういう形であれ、まずは注目して貰うことこそシティセールス。」に納得。

林 節子

平成 26 年にアニメ制作会社より沼津市を舞台とした作品制作の申し出があり、翌年には地域への説明や企画公開がなされ、聖地巡礼が動き出す。平成 28 年に「ラブライブ サンシャイン」が放送されると、沼津市へのファンの来訪が増加した。

これを契機に、沼津市では、当該アニメのキャラクターの声優である伊波杏樹さんのナレーションによる沼津の魅力を P R する動画を制作したり、キャラクターが描かれた缶バッジをふるさと納税の返礼品に採用、また、市内にキャラクターが描かれたマンホールを設置等、多岐にわたる民間とのコラボ企画を行い、町が活性化した。

日 時	令和元年 8 月 7 日（水） 15：00～17：00
市町村名	静岡県掛川市（人口11万5000人 面積265km ² 議員定数21名）
テ ー マ	シティプロモーション推進計画について
視察場所	静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 掛川市役所
応 対 者	掛川市 観光・シティプロモーション課 中村光宏係長 松下みゆき主査 掛川市議会 環境産業委員会 山本祐三委員長

【概 要】

掛川市シティプロモーション事業

掛川ならではの魅力を再発見し、持続して発展させていくため、国内外に効果的に発信していく取組みを進めている。



掛川市のブランドメッセージとイラスト

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★



シティプロモーション推進計画

シティプロモーションを戦略的かつ効果的に推進するためシティプロモーションの方向性及び方策を指し示す戦略として「掛川市シティプロモーション推進計画」を策定。

市民総ぐるみによるシティプロモーションを展開。

シティプロモーション市民協働会議

市民協働型のシティプロモーションの推進に向け、市民・各種団体・企業・行政等による全市体制の会議を構築。

掛川市ならではのプロモーションシステムの確立を目指している。



推進への取組み事例

- ・輝くかけがわ応援大使
- ・フィルムコミッション
- ・下町ロケット展示コーナー開設
- ・シティプロモーションサイト「掛川物語」
- ・訪日外国人観光客向け「掛川市シティプロモーション動画」 等
- ・メモ冊子「物語のかげら」作成



【主な質疑と回答】

Q：移住定住の推進で、東京事務所等におけるPRの取組みは？

→出張移住相談室（東京有楽町東京交通会館）で今年度は4回開催予定
県移住センターの連携による移住相談やシティープロモーションキャンペーン（名古屋）等も行っている

Q：移住定住プロモーション映像「掛川物語」編集に当たってのプロセスは？

→発信内容や訴えるものについては、独自で抽出作業を行った。

Q：シティプロモーション推進計画の実施による効果・成果は？

→今現在、各所管で取りまとめている。総合計画に基づく一つ一つの施策や住民サービス事業が、全て掛川市のシティプロモーションである事の自覚が促されてきた事が大きい

Q：市民協働事業の取り組みとしてどのようなものがあるか？

→平成30年度は掛川西高校が掛川城プロジェクトマッピングを開催。シリーズ化しており10月、12月、平成31年3月と高校生が制作した式をテーマとした映像など披露し、約2000人が来場する中で映像の情報発信やプロモーション動画「掛川物語」を投影し、掛川の魅力発信を行った。
また、旧掛川市は「生涯学習都市宣言」を行っており、市民が共に学び合う度量が根付いていることもあり、掛川流の行政と市民が一体になって取り組む推進体制を確立しつつある。



Q：シティプロモーション推進計画の原型となったものは何か？

→プロの目線から東海大学河合教授の指南を受け、広報の書き方や発信方法については新聞社OBの大村治氏に学び、シティプロモーションを支える担い手づくりを進めた。

【各委員所感】 静岡県掛川市『シティプロモーション推進計画について』

笹井 琢

かけがわ応援大使は100人を指すとのことだが、生目の利く交流を継続させるためには、人数を絞り込む必要があると考える。

シティプロモーションの成果はどのように測るのか、掛川市議会の山本祐三委員長を交え意見交換ができ、とても有意義な時間となった。

掛川城や報徳精神、JR駅耐震化にあたり木造駅舎を再建するなど、歴史文化の継承について学ぶべき点が多かった。

岸本 隆雄

シティプロモーションの三つの要素「誰に、何を、どのようにして」発信していくかというパターンに掛川市を当てはめてみますと、【誰に】は若者・子育て世代をターゲットとし、【何を】は「住みやすい街」「交通アクセス」「自然環境の素晴らしさ」

「子育て支援」「祭り」「イベントの紹介」「文化・教育」「仕事」「歴史」「掛川城」「茶畑」等、たくさん市の魅力を紹介されています。【どのようにして】は、「ブランドイメージの形成」「市民参画の拡大」「情報発信の強化と売り込み」「シティプロモーション機能強化」「シティプロモーションを支える担い手づくり」と、様々に展開されており、私は、必ず良い結果が期待できると思いました。

それと、私は、掛川市の素晴らしい魅力を見つけました。それは、掛川市役所が、小高い丘に木々が茂った、まるで森の中に本庁舎が建設されており、広い駐車場もあり、全くの夢の世界です。庁舎そのものも、あっと驚く夢の建物です。今まで、たくさんの建築物を見ておりますが、この建物ほど感動したことはありません。構想・デザイン・アイデアが素晴らしい。これだけの庁舎を実現出来る行政、なんと素晴らしことでしょう。一事が万事、掛川市の行政能力は、全国一番だと思います。庁舎を案内されれば、移住者は、間違いなく増加するのでは無いでしょうか！

光市にシティプロモーションの三つの要件を当てはめて見ますと、【何を】が、見つかりません。よそに無い物、魅力あるもの探すか、作るか、磨くか。皆で考えましょう。きっとあるはずです。

木村 信秀

シティプロモーション推進計画については、市民総ぐるみで掛川市を発信し、「選ばれる都市」になるために都市全体の価値を高め、都市に信頼や好感を持つ人々の獲得を目指すことを目標としていた。また、掛川市にゆかりのある人物を「輝くかけがわ応援大使」として100人を任命することを目標とし、現在、41名の方々に市の認知度向上を目指す役割を担っていただく取組みをされていた。当市においても、今一度、共創と共働のまちづくりができるように役立てていきたい。

田邊 学

掛川市は交通の便がよく、歴史ある街並みが残っており、「都会と田舎のいいところ取り」というキャッチフレーズとの掛川市の紹介があり、世界に誇るお茶の産地でもあるとのこと。「掛川物語」というカタログサイズの紹介冊子をつくっているが、これは掛川市の観光・シティプロモーション課による編集で、このようなプロモーション冊子を光市も作るべきである。

シティプロモーション推進計画については、市民参加の市民協働会議、輝くかけがわ応援大使、掛川市役所推進本部会議などがあり、それらが戦略を検討し、情報を共有して、掛川市の魅力の発信を実践していることを聞き、光市も更にシティプロモーションに力を入れ、移住定住に向けて努力することが必要と感じた。

中本 和行

人口減少社会が進む中、すべての人々に選ばれる街となるため、市民総ぐるみで掛川市について発信している。ただし、具体的なターゲットを「若者」や「子育て世代」としている。

市民協働事業（高校生が制作したプロジェクションマッピングのイベントや小中学生向けプロジェクションマッピングのワークショップ等）の開催や、応援大使による情報発信等を行いながら、交流人口の増加と移住定住の促進を目指している。市民の皆が市の魅力を再認識し、街をあげて意欲を高めて地域社会を作り上げようとしていることが、掛川市への移住定住に繋がっている。

仲山 哲男

「近き者悦ばば、遠き者来らん」

「報徳」の精神と「生涯学習」の理念を根幹とした「自治基本条例」を持つ生涯学習都市宣言のまち掛川市のシティプロモーションは、やはり一味違う。発信の手段や対象を考え、受け手にどう響くかに腐心するのではなく、市民、若者、女性、企業、行政の誰もが、自分たちの町の良さを語りたくなるシビックプライドを醸成すること、これが底力のある発信力に繋がっている。また、このシビックプライドを共有できる制作側のプロを味方につけ、更に、細い縁でも関係を持ち続ければ親密になることから、外に応援者を多く持つことも重要である。

西村 憲治

環境産業委員会の山本委員長が最後まで同席してくださり、質問に丁寧に答えてくれました。私共も、是非見習いたいと思いました。

掛川市のシティプロモーションと議会との関わりを尋ねると、シティプロモーション協働会議のメンバーに議員全員が参加しており、議長は副会長として参加しているとのことでした。

「物語のかけら」メモ帳は、行政らしくなく、斬新で素晴らしいと感じました。撒きビシのページが特に好きです。また、以前のスローライフから定住・移住政策へ転換さ

れたことが、とても素晴らしいと感じました。

その他、掛川市は、スズキ自動車の部品工場が多く活況を呈していること、また、人口 11 万人の都市で議員は 19 名と、歳費も抑えて努力されていることがよく理解できました。議会の政策討論会の手法についてもお伺いしました。

森重 明美

掛川市では、市民と行政が一体になって行うシティプロモーションに取り組む。市への誇りや愛着心（シビックプライド）の醸成を基本に、まちづくりに参加する市民を増やしていく中で、交流人口拡大・産業活性化・移住定住促進に相乗効果もたらしめていくシステムを展開している。市の取組みの優れたところは、推進計画を作成し、その具現化のために掛川流協働力の推進体制となる市民協働会議を確立していることである。その取組みにあたり、専門家やアドバイザーの参画が推進への質を高めている。

林 節子

掛川市のシティプロモーションは、市民総ぐるみで発信し、都市全体の価値を高め、選ばれる都市になるよう展開。シティプロモーションの目指す形として、当市の認知度向上、都市イメージを形成・浸透させ、参加者を増やし、自ら語ることにより掛川市を売り込む事である。ターゲットは「若者」と「子育て世代」である。シティプロモーションの市民協議会の参加は、市民の代表として各企業、大学、各まち協議会、NPO、輝くかけがわ応援大使（著名人 41 名）が含まれる。ブランドイラストは、高校生が作成したものである。

防災体制

本庁舎内にある危機管理センターは、全庁舎的な総合調整と一元的な情報発信等を行い、関係部課は事態対処（応急対策）を行う。

地域交流センター（防災拠点）が中心となり地区防災連絡会を開催し、地区における連携強化を推進すると共に、実情に即した防災体制の強化を図る。



自主防災組織

- ・地域防災指導員を養成している。
- ・自主防災会の平常時や災害時における活動の基本的な事項を定めた自主防災計画書や、避難所での生活計画書の策定を進めている。
- ・毎年、自主防災会長を対象に防災関係研修会を開催し、説明を行うとともに計画書の提出を依頼している。
- ・防災組織への補助金制度がある。
- ・避難所毎に運営訓練を実施している。
- ・市役所から自治会・自主防災会への連絡様式を定め、緊急時の電話連絡にあたっては双方がチェックしながら伝達する。（右様式）

【水害】藤枝市避難勧告等伝達用紙（藤枝市役所・自治会）

●伝達記録	
藤枝市情報発信者（ ）様 氏名（ ）	
自主防災会受領者 自主防災会名（ ）氏名（ ）	
伝達完了日時 平成（ ）年（ ）月（ ）日（ ）時（ ）分	

内容	番号	選択	伝達内容
主文① (日時)	1	()月()日、()時()分	
主文② (対象地区)	2	()町内会に	
	3	()自治会の全域に	
	4	()地区の 全域に一部に	
	5	市内全域に	
主文③	1	水害に要する「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しました。	
	2	水害に要する「避難勧告」を発令しました。	
	3	水害に要する「避難指示(緊急)」を発令しました。	
	4	水害に要する「避難・勧告・指示(緊急)」を発令しました。	

※以下の伝達B及び裏面の伝達Cは、時間的な余裕がある場合にお知らせします。

内容	番号	選択	伝達内容
●伝達B(情報種別及び原因)	1	新 規	
情報種別	2	流 大	
	3	流 小	
	4	崩 落	
原因① (河川名)	1	大井川の	
	2	瀬戸川の	
	3	朝比奈川の	
	4	瀬川川の	
	5	柳山川の	
原因② (地名)	1	()水位観測所の水位が	
	2	()地味で	
原因③ (水災状況)	1	水位が上昇しており、夜間から明けて多量の雨が降ることが予想されます。	
	2	水防団待機水位に達しました。(恐れがあります。)	
	3	低く警戒水位に達しました。(恐れがあります。)	
	4	水防団出動水位に達しました。(恐れがあります。)	
	5	避難判断水位に達しました。(恐れがあります。)	
	6	はん濫危険水位に達しました。(恐れがあります。)	
	7	堤防決壊に達しました。(恐れがあります。)	
	8	その他()	

家具等転倒防止事業

一世帯当たり5台まで 転倒防止器具の無料取付サービスを行っている。感震ブレイカー等の設置については、設置費用の3分の2(上限5万円)を補助している。

家具の固定方法(例)

☆食器棚の固定方法例

横桎にL型金具や専用ベルトにて取付ます。

☆冷蔵庫の固定方法例

冷蔵庫の上部持手部分に専用ベルトを通し取付ます。

☆テレビの固定方法例

テレビ台に専用固定具にて取付ます。

【主な質疑と回答】

Q：自主防災組織の構成と組織数は？

→構成は原則として自治会単位。自治会202か所。町内会自主防災4か所。

Q：自主防災会の指導員はどれぐらいいるのか？

→初級・中級・上級とあり、毎年100名程度受験。上級者数、865人。

Q：自主防災会の防災計画の策定状況は？

→提出の割合は、70%から80%である。

Q：避難所はどのように開設・運営するのか？

→原則として、市の職員4名程度が担当する。但し運営は住民主体です。

Q：防災無線のサイレンについてはどのような種類があるのか？

→サイレンは内容を伝えるのが難しいので、鳴らしていない。

Q：市内の防災倉庫の件数は？

→単独は69か所。小学校併設16か所。計85か所。すべて市の管理。

Q：避難体育館の空調設備にスポットクーラーを使用しているが値段は？

→1台約8万円。

Q：主要救護所における医療救急体制はどうなっているか？

→昨年までは小学校12か所としていたが、医師不足のため現在は4か所。

Q：河川水位・雨量観測システムの設置及び運用の契約方法は？

→10社による入札により決定している。



【各委員所感】 静岡県藤枝市『避難勧告等の判断・伝達マニュアル等について』

笹井 琢

市内 4 本の 2 級河川について、それぞれ水防団出動水位・避難準備水位・避難勧告水位を定めている。また、避難勧告等の伝達にあたっては、市役所と自主防災会が同じ様式の伝達用紙を手にし、電話で項目をチェックする方式である。自主防災会の防災計画について雛形が示され、作成を勧めている。

藤枝市単独で導入した河川水位雨量観測システムのうち超音波式水位計は、電池と LPWA ゲートにより、単体で稼働していることに驚いた。光市の 2 級河川でもぜひ取り入れるべきである。

資料で頂いた「藤枝市議会ガイド」は、これまで訪問したどの市議会の資料よりも分かりやすい出来であった。

岸本 隆雄

下記の点がとても参考になりました。

- ・避難勧告の判断・伝達マニュアルが、「水害編」と、「土砂災害編」に分けてマニュアル化されていること。
- ・風水害に対する意識の高揚と避難体制の強化を図る事を目的に、各町内会・自主防災会を対象に、順次、水害・土砂災害図上訓練を実施されていること。
- ・医療関係機関と行政機関による、災害時の医療救護にかかる検討会を開催されていること。
- ・要配慮者のために、15ヶ所の福祉避難所を指定されていること。
- ・自主防災会が避難所運営訓練を実施されていること。
- ・市内の全世帯に、一世帯当たり 5 台まで家具転倒防止対策事業を展開されていること。

木村 信秀

藤枝市には、市内に 202 の自主防災会があり、11 の防災拠点を設置して、災害対策本部に繋ぐという防災体制を作られていた。特徴としては、年 100 人の地域防災指導員（防災士）を養成されており、現在までに 1,500 人以上となっており、上級防災士については 865 名となっている。当市の懸案事項でもある内水対策について、藤枝市の水平避難と垂直避難に係る考え方については大変参考となった。

田邊 学

藤枝市の防災対策については、河川による水害や土砂災害への対応をメインとしている。市内を流れる一級河川の大井川と二級河川が 4 河川あり、堤防が決壊した場合の水害（外水氾濫）の想定を対象とし、河川水位・雨量観測システム等を使って観測データをサイトで閲覧できるようにしていた。設置費や運用費についての説明等を聞き、光市においては島田川上流域における降雨の影響が大きいと、河川水位計よりも雨量計の

数を増やすほうが良いのではないかと思われた。

防災拠点や避難勧告等の判断・伝達マニュアル等については、順序よくわかりやすくまとめられていた。

中本 和行

全国各地で毎年のように水害や土砂災害等が発生している状況の中、自治体による避難勧告の判断と住民に対する初期の情報伝達が重要となっている。

自主防災計画を作り防災体制を強化し、避難運営体制を確立。また、地震対策として家具の転倒防止や感震ブレーカー等設置推進補助等、「自らの命は、自らで守る」ことに地域皆で努め、防災意識を高めている。

そして、県と気象台等の関係機関との指導を得て発令の判断基準について取りまとめ、マニュアルを策定して市民の安心安全な街づくりに積極的に努めている。地域力の防災力を高めるため、自主防災組織強化への取組みの必要性を強く感じた。

仲山 哲男

河川水位・雨量観測システムの情報をもとに、素早く的確な発信により迅速な避難につながることを期待できる、避難勧告等の判断・伝達マニュアルを運用している。3年講習を受けた上級地域防災指導員を865人も養成しており、地域防災リーダーとして、拠点である11の地区交流センターで自主防災力の強化に向けた取組みが行われ、避難生活計画書を作り住民主体の避難所運営の周知を図っている。

また、各戸の耐震化、家具の転倒防止、非常用品の準備を進め、避難所生活しないで済むように取り組んでいることも注目される。

西村 憲治

藤枝市は人口が14万人の都市ですが、防災士上級が865人もおられ、延べ1,500人が講習を受講されているとのことであり、防災に対する住民意識の高さを感じました。

市内に防災倉庫が69箇所あり、小中学校の余裕教室16箇所にも備蓄があるとのことであり、準備の良さは見習いたいと思いました。

森重 明美

藤枝市は、総務部所管の危機管理センター内に「大規模災害対策課」と「地域防災課」の二課体制で防災対策を行う。大規模災害対策に関しては、有事の際の職員配備体制点には主要救護所の設置（4カ所）も定め、医療・行政間の検討会を持ち、トリアージ訓練等も実施。また、地域防災課の取組みでは、年次的に各家庭の家具転倒防止器具取り付けサービス事業を継続しており、市民の危険性回避対策が浸透している。町内会長・自主防災会長が手掛ける防災計画に対しての後押支援も着実に実施している。

林 節子

藤枝市では、災害時の医療救護体制として、主要救護所を市内4ヶ所（医師会館、ク

リニック等)を指定している。平成30年より、災害現場の確認にドローン2機を活用し(職員10名体制で実施)、被災状況を早期に確認、対応出来るようになった。また、防災用トレーラーは移動性を活かし、災害時における避難所での衛生対策、健康管理が可能である。ボックス型トラック荷台車室は、男性用(小・大便器 各1基)、女性用(大便器2基)、多目的用(大便器1基・オスメイト専用便器1基・洗浄便座)を完備しており、大規模災害が発生した際には派遣要請にも対応できるとのこと。